

事務事業	112	安心のみどり整備					
章	3	安全で快適な、みどりのあるまち					
大項目	04	うるおいのあるみどりのまちづくり					
施策	01	みどりと水の豊かなまちづくり					
事業内容							
目的	みどりの持つ防災機能を都市の中に生かし、みどりによる安心のまちづくりを進めます。						
対象・手段	対象：区内全域 手段：接道部緑化の助成						
成果(事業が意図する成果)							
接道部を生垣にすることにより、地震等の災害によるブロック塀等の倒壊や、火災の際の延焼を未然に防ぎます。また、併せて四季を感じられるみどり豊かなまちの実現を図ります。							
事業成果指標							
指標名	定義	目標水準					
接道部緑化助成延長の推移	生垣及び植樹帯の助成延長(累計) 目標：200m/年 単位：m	(平成19年度)に					
		(2,000m)の水準達成					
		()年度に					
		()の水準達成					
		()年度に					
		()の水準達成					
成果の達成状況							
	単位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備考	
事業成果指標	目標値1	m	1,400.00	1,600.00	1,800.00	2,000.00	
	実績1	m	759.00	834.00	864.00	897.00	
	= /	%	54.21	52.12	48.00	44.85	
	目標値2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成18年度	生垣助成 3件 施工延長 22.0m 273,000円 植樹帯助成 1件 施工延長 8.0m 40,000円 ブロック塀等の撤去 0件 (参考)緑化計画書制度に基づく接道部緑化の実績 5,260m						
平成19年度	生垣助成 3件 施工延長 33.0m 411,000円 植樹帯助成 0件 ブロック塀等の撤去 0件 (参考)緑化計画書制度に基づく接道部緑化の実績 2,555m						

部名称		みどり土木部		課名称		みどり公園課	
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	778	956	344	497	
	人件費	千円	1,668	1,668	1,656	1,652	
	事務費	千円	0	0	0	0	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	2,446	2,624	2,000	2,149	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	2,446	2,624	2,000	2,149	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	2,444	2,622	2,000	2,149	
	特定財源		2	2	0	0	
	一般財源投入率 /	%	99.92	99.92	100.00	100.00	
職員	常勤職員	人	0.20	0.20	0.20	0.20	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
事業に関する検討課題							
<p>接道部緑化助成の申請件数は区が意図する件数よりも少ないのが現状です。より実情に合った助成基準に見直していくことと、生垣の防災面、景観面、環境面の効果・効用を積極的にPRし、助成制度の利用者数を増やすことが求められています。</p>							
評価基準に基づく評価と理由	達成度	1	目標の45%の達成と、助成の実績は必ずしも多くありませんが、生垣等は着実に増えています。				
	実施の成果	2	平成19年度末の生垣の助成延長は897mで、着実に増えています。接道部の緑化は、火の延焼や塀の倒壊を未然に防ぐ等の防災的な効果に加え、日常的に接するみどりの増大に成果がありました。				
	効率性	2	この事業は、接道部への生垣づくりの費用の一部を区が助成することにより実施しているため、費用対効果から見て、効率的に行われています。				
	行政の関与	2	ブロック塀等の震災時の危険性については、区民も認識してきていますが、これらを生垣等に代えることは多大な負担となるため、その負担の一部を行政が担うことは適切です。				
	妥当性	2	災害に強い、みどりとうるおいのあるまちづくりを進めるという目的において、区が生垣や植樹帯設置の助成を行うこと、助成延長を指標とすることは妥当です。目標値に近づけるように助成対象の基準の見直しを検討しています。				
	施策寄与度	2	この3年間で138mの生垣等設置助成の実績があり、「みどりと水の豊かなまちづくり」の施策に寄与しました。				
総合評価	平成19年度の評価をDとしました。その理由は目標の45%の達成であったためです。19年度は、新宿御苑みどりの集い、ふれあいフェスタ、菊花展、笹笠地区協議会、柏木地区協議会、エコリーダー養成講座の機会を活用しPRに努め、この他にも「緑化計画書制度」により約2500mの接道において緑が創出されています。また、過去3年間の実績ではDと評価します。600m(200m×3年)の助成を目標として努力しましたが、結果として138m分の助成となったからです。						D
							過年度評価
改革方針							18年度 D
							17年度 D
							16年度 B
						15年度	
						方向性	
<p>この事業は、経常事業の「接道部緑化の助成」に引継いで取り組んでいきます。4月から生垣幅の要件を弾力化する等より実情にあわせ助成基準を改正しています。さらに、今年区広報による周知を充実して、2ヶ月に1回程度みどりの特集記事を掲載する予定です。第1回目は屋上緑化・壁面緑化、第2回目は緑化相談、第3回目は生垣助成の特集を掲載します。</p> <p>また、防火、防災のための植栽方法や四季の花が咲く生垣等の設置方法、効能を具体的に、パンフレットや区HPを活用して区民や事業者へPRします。</p> <p>加えて、地区計画や細街路整備事業と積極的に連携し、事業の普及促進を図ります。</p>						2	
						手段改善	